

## 指定管理者が行う公の施設の管理状況報告(令和2年度分)

＜県の評価等＞

施設所管部名： 地域連携部

### 1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	三重交通G スポーツの杜 鈴鹿（鈴鹿市御園町1669番地） 三重交通G スポーツの杜 伊勢（伊勢市宇治館町510番地）
指定管理者の名称等	三重県スポーツ協会グループ 代表者 公益財団法人三重県スポーツ協会 理事長 村木 輝行 （鈴鹿市御園町1669番地 三重交通G スポーツの杜 鈴鹿内）
指定の期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
指定管理者が行う管理業務の内容	① 事業実施に関する業務 ② 施設等の利用の許可等に関する業務 ③ 利用料金の收受等に関する業務 ④ 施設等の維持管理及び修繕に関する業務 ⑤ 三重交通G スポーツの杜 鈴鹿及び三重交通G スポーツの杜 伊勢の管理上必要と認める業務

### 2 施設設置者としての県の評価

※指定管理者が変わった場合、前年度の評価は斜線を記入しています。

評価の項目	指定管理者の自己評価		県の評価		コメント
	R1	R2	R1	R2	
1 管理業務の実施状況	B	B			<p>競技団体との利用調整会議において競技団体間の調整を適切に行い、各種大会の開催及び円滑な運営を行っている。また、関係団体等と三重とこわか国体・三重とこわか大会の開催に向けて情報交換を行った。</p> <p>日常点検等により施設の異常箇所の早期発見に努め、必要に応じ施設修繕を行うなど、良好な施設環境の提供やサービス向上に努めている。</p> <p>緊急事態に適切に対応できるよう、日常的な危機管理の徹底と定期的な実地訓練を行い、緊急事態発生時の態勢を意識した取組を行っている。また、新型コロナウイルス感染症対応マニュアルを作成し、利用者等の感染予防に努めている。</p>
2 施設の利用状況	B	B			<p>年間利用者数については、三重交通G スポーツの杜 鈴鹿は283,684人(対前年度比213,933人減)、三重交通G スポーツの杜 伊勢は144,038人(対前年度比236,573人減)に留まった。</p> <p>主催事業であるスポーツ教室は、講座数の減少はあったものの、鈴鹿は341講座(対前年度比84講座減)、伊勢は74講座(対前年度比35講座減)を開講した。</p> <p>なお、令和2年度は、緊急事態宣言等に伴う閉鎖や移動自粛により、施設利用促進の困難な期間が143日間あった。</p>
3 成果目標及びその実績	B	B			<p>年間利用者数について、新型コロナウイルス感染症の影響により、三重交通G スポーツの杜 鈴鹿は、成果目標523,000人に対して283,684人と、成果目標を達成できなかった。また、三重交通G スポーツの杜 伊勢は、成果目標368,000人に対して144,038人と、成果目標を達成できなかった。</p>

※「評価の項目」の県の評価：

「+」(プラス) → 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。  
 「-」(マイナス) → 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。  
 「 」(空白) → 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。

総括的な評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競技団体等との利用調整業務、利用許可や料金收受業務、施設の維持管理及び修繕等に関する業務を適切に実施している。</li> <li>・収支状況を考慮しながら、必要競技器具の補充及び施設の修繕を実施し、利用環境の改善に努めている。</li> <li>・ニーズの高いスポーツ教室を開催するなど、生涯スポーツの推進への貢献に努めている。</li> <li>・休業日の縮小及び営業時間の延長を行っており、利用者サービス及び利便性の向上に努めている。</li> <li>・利用者にとって、より利用しやすい環境に配慮した施設となるための、更なる努力が必要である。</li> <li>・無観客による大会運営は、利用者数の減少となったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策において、利用者の安全、安心に配慮した運営に努めていると言える。</li> <li>・緊急事態宣言等に伴う閉鎖や移動自粛により、施設利用促進の困難な期間が143日間あった。</li> </ul> <p>総合的に見て、適切な指定管理業務を実施しており、指定管理者の自己評価は妥当と思われる。</p>
--------	--

# <指定管理者の評価・報告書(令和2年度分)>

指定管理者の名称: 三重県スポーツ協会グループ

## 1 管理業務の実施状況及び利用状況

### (1) 管理業務の実施状況

#### ① 管理運営事業の実施に関する業務

- ・管理施設を利用する競技団体等との利用調整会議を開催し、各種県大会の開催及び円滑な運営に努めた。また、関係部署、関係団体等と全国中学校総合体育大会、三重とこわか国体・三重とこわか大会開催に向けた情報交換等を行った。
- ・利用規程を定め、施設及び設備の利用許可業務を適正に行った。また、利用規程は県の承認を得たうえで随時改正を行い、可能な限り利用者の要望等に応えることで、利用しやすい施設の提供に努めた。
- ・職員、業務委託業者の緊急時連絡体制の整備及び緊急時・災害発生時のための危機管理マニュアルを改訂するとともに、職員等関係者に配付し、不測の事態に備えた。令和2年度は新型コロナウイルス感染症対応マニュアルや利用者へのガイドラインを作成し、安心・安全な運営に努めた。
- ・利用拡大を目的とした広報活動として、ホームページでの案内、イベントチラシの市報への折込、スポーツ教室募集チラシの新聞折込、市内配布型フリーペーパーへの広告掲載などを行い、施設PRに努めた。また、最寄りのバス停留所「三重交通G スポーツの杜 鈴鹿ぐち」から本施設内へ無料シャトルバスを独自に運行し、利用者の利便性の向上に努めた。
- ・施設運営や施設状況、スポーツ教室等の実施内容について随時聴き取りを行い、得られた意見を検討の上、速やかな対応を行った。
- ・利用者に対して安全な環境を提供するため、始業前点検、器具備品点検、施設点検を行い、異常があった場合は、施設あるいは器具の使用中止と共に速やかな修繕を行い、利用環境の向上に努めた。

#### ② 施設及び設備の維持管理及び修繕に関する業務

- ・利用者に対して、良質で安全かつ清潔な施設を提供するため、清掃の他、始業前点検、器具備品点検、施設点検を行い、異常箇所があった場合は、施設あるいは器具の使用中止の対応を執り、異常個所の状況把握と共に必要に応じた修繕を迅速に行った。
- ・良好な施設の提供やサービス向上を図るために、大規模改修の時期や過去の修繕状況を考慮して、計画的な修繕を実施した。
- ・全スタッフが出席する所内会議を休業日に開催し、施設・設備に関する状況報告、管理運営に関する懸案事項報告を受け、対応について検討、確認を実施している。
- ・競技団体の要望とともに、収支状況を考慮しながら、必要競技器具の補充及び修繕を実施した。

#### ③ 県施策への配慮に関する業務

- ・競技力向上の拠点施設としての役割を果たすため、加盟競技団体と連携し、大規模大会の開催やトップアスリートの合宿受け入れなどを行った。また、県内競技団体の国体強化選手のための合宿受け入れを積極的に行った。
- ・三重とこわか国体・三重とこわか大会開催に伴う選手強化合宿に係る施設利用上の全額免除を行った。

##### 【三重交通G スポーツの杜 鈴鹿】

- ・スポーツ教室は341講座開催、延べ25,182人の参加があった。
- ・入場券のみで参加できる水泳ワンポイントレッスンを61回開催し、延べ514人の参加があった。
- ・本協会加盟の競技団体と連携し、県民が気軽にスポーツに参加できるよう例年開催している「鈴鹿スポーツガーデンカップ」は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。
- ・テニスコートの定期利用者の拡大を目的にサークルの登録制度を設け、使用料の一括精算や継続利用の環境整備を行うなど、サークル活動支援を行った。(サークル登録数: 151団体)
- ・施設の周知活動として例年開催している、大会予約のない土日祝日のフリーマーケットは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した。

##### 【三重交通G スポーツの杜 伊勢】

- ・スポーツ教室は、前期は中止したが、中期・後期で74講座開催、延べ986人の参加があった。
- ・県民のスポーツ活動の支援と生涯スポーツの普及・振興を促進するため、ニーズの高い種目のスポーツ教室を優先して開催した。
- ・例年開催している「美し国三重市町対抗駅伝」は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。
- ・三重とこわか健康マイレージ事業の「マイレージ特典協力店」に登録し、健康増進事業への協力を努めた。

#### ④ 情報公開・個人情報保護に関する業務

- ・情報公開については、公益財団法人三重県スポーツ協会情報公開実施要領に基づき取り扱っている。
- ・個人情報については、公益財団法人三重県スポーツ協会個人情報保護実施要領に基づき取り扱っている。また、個人情報保護方針をホームページへ掲載するとともに、教室申込書などには個人情報の取扱について明示している。各施設で保管している施設利用申請書、スポーツ教室参加者名簿、施設顧客名簿等の個人情報が記載された文書や電子データが外部へ漏洩しないように、全職員で厳重に注意し取り扱っている。
- ・三重県若しくは関係機関が主催する個人情報に関する講習会へ新人スタッフを中心に派遣し、制度の正しい理解と運用ができるよう研修を行った。

#### ⑤ その他の業務

- ・利用拡大の一環として、近隣企業などの福利厚生施設としての利用提携を継続して行った。
- ・地域との連携強化として、両施設が設置された各市が開催するイベント等に協力した。

(2)施設の利用状況										
三重交通G スポーツの杜 鈴鹿					三重交通G スポーツの杜 伊勢					
	目標	実績	達成率			目標	実績	達成率		
人数	523,000 人	283,684 人	54.2%		人数	368,000 人	144,038 人	39.1%		

## 2 利用料金の収入の実績

(単位:円)

指定管理施設収入	144,911,367	
内訳		
三重交通G スポーツの杜 鈴鹿	114,154,651	三重交通G スポーツの杜 伊勢 30,756,716
施設利用料収入	75,330,414	施設利用料収入 20,880,860
参加料収入	33,275,712	参加料収入 5,711,500
その他収入	5,548,525	その他収入 4,164,356

## 3 管理業務に関する経費の収支状況

(単位:円)

収入の部			支出の部		
	R1	R2		R1	R2
指定管理料	378,352,442	395,887,000	事業費	50,181,459	33,191,818
利用料金収入	133,970,837	96,211,274	管理費	540,856,446	498,387,010
その他の収入	63,730,541	48,700,093	その他の支出	10,960,872	6,317,490
合計 (a)	576,053,820	540,798,367	合計 (b)	601,998,777	537,896,318
収支差額 (a)-(b)	△ 25,944,957	2,902,049			

※指定管理者が変わった場合、前年度の収支状況には斜線を記入しています。

※参考

利用料金減免額	2,738,577
内訳	
三重交通G スポーツの杜 鈴鹿	2,486,997
三重交通G スポーツの杜 伊勢	251,580

## 4 成果目標とその実績

成果目標																																	
成果目標に対する実績	<table border="1"> <tr> <td colspan="5">三重交通G スポーツの杜 鈴鹿</td> <td colspan="5">三重交通G スポーツの杜 伊勢</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td>実績</td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td>目標</td> <td>実績</td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>523,000 人</td> <td>283,684 人</td> <td>54.2%</td> <td></td> <td>人数</td> <td>368,000 人</td> <td>144,038 人</td> <td>39.1%</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	三重交通G スポーツの杜 鈴鹿					三重交通G スポーツの杜 伊勢						目標	実績	達成率			目標	実績	達成率			人数	523,000 人	283,684 人	54.2%		人数	368,000 人	144,038 人	39.1%		
三重交通G スポーツの杜 鈴鹿					三重交通G スポーツの杜 伊勢																												
	目標	実績	達成率			目標	実績	達成率																									
人数	523,000 人	283,684 人	54.2%		人数	368,000 人	144,038 人	39.1%																									
今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可能な限り休業日を削減し、営業時間を延ばすことで、スポーツに触れる機会を少しでも多く提供できるよう調整を行い、利用者サービスの向上を図る。</li> <li>・生涯スポーツの振興と競技力向上の拠点となる総合的スポーツ施設である三重交通G スポーツの杜 鈴鹿及び三重交通G スポーツの杜 伊勢を一体的に管理することにより、全国規模の大会を開催できるよう、関係機関、本協会加盟団体との協力体制のもと細やかな調整を行い、大会運営に協力する。</li> <li>・三重交通G スポーツの杜 鈴鹿に隣接した本協会所有の「スポーツガーデンミエスポイン」と、本協会指定管理施設の県立鈴鹿青少年センターを活用したサービスを展開することで、利用者増に努める。</li> <li>・サービスの向上、スタッフの資質向上、運営の効率化等のための情報材料として、利用者の意見を把握し、利用者ニーズに的確に応えられる体制で管理運営を行う。</li> <li>・三重交通G スポーツの杜 伊勢では、関係団体及びトレーニングセンターの利用拡大のため、広報活動に努めるとともに、選手強化及びスポーツに親しめる施設としての運営に努める。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を継続して実施していかねばならないが、感染拡大の収束時期を見極め、利用者の回復に努める。</li> </ul>																																

5 管理業務に関する自己評価

※指定管理者が変わった場合、前年度の評価は斜線を記入しています。

評価の項目	評価		コメント
	R1	R2	
1 管理業務の実施状況	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般開放を可能な限り行えるよう、各施設毎に利用調整会議を開催した。令和2年度は三重とこわか国体・三重とこわか大会に向けた調整も同時に行った。</li> <li>・「ひと声箱」に寄せられた利用者の意見を聞き取れる体制を整備し、意見内容について対応可能な事項については、早急な対応に努めた。</li> <li>・業務委託先との連絡を密にしながら、施設の現状を丁寧に把握し、保守点検や修繕等に計画的に取り組み、良好な施設管理を行った。</li> <li>・緊急事態に対応できるよう、火災・地震災害対応訓練、消防署による救命講習会を通して危機管理意識の醸成に努めた。</li> </ul>
2 施設の利用状況	B	B	<p>【三重交通G スポーツの杜 鈴鹿】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間利用者数は283,684人であり、成果目標を下回った。</li> <li>・国体強化合宿、加盟競技団体合宿などの受け入れを積極的に行った。</li> <li>・例年開催している「鈴鹿スポーツガーデンカップ」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。</li> </ul> <p>【三重交通G スポーツの杜 伊勢】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間利用者数は144,038人であり、成果目標を下回った。</li> <li>・陸上競技を中心に、三重とこわか国体・三重とこわか大会に向けた強化合宿等を受け入れた。</li> <li>・東京2020パラリンピック競技大会に係る事前キャンプ等の受け入れを予定していたが、中止となった。</li> </ul>
3 成果目標及びその実績	B	B	<p>【三重交通G スポーツの杜 鈴鹿】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、予定されていた大会が中止となるなど、年間利用者数、利用料収入ともに目標値を下回った。また、屋外庭球場の人工芝張替工事に伴う約4ヶ月の利用制限、水泳場電光表示盤更新工事に伴う50mメインプールの使用制限も、目標値が下回った一因である。</li> </ul> <p>【三重交通G スポーツの杜 伊勢】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、予定されていた大会が中止になるなど、年間利用者数、利用料収入ともに目標値を下回った。また、開催された大会については、無観客措置が執られるなど、利用者の回復には至らなかった。</li> </ul>

※評価の項目「1」の評価  
 :  
 「A」 → 業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。  
 「B」 → 業務計画を順調に実施している。  
 「C」 → 業務計画を十分には実施できていない。  
 「D」 → 業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。

※評価の項目「2」「3」の評価  
 :  
 「A」 → 当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。  
 「B」 → 当初の目標を達成している。  
 「C」 → 当初の目標を十分には達成できていない。  
 「D」 → 当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。

総括的な評価	<p>【三重交通G スポーツの杜 鈴鹿】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、第2期指定管理から実施している休業日の縮小及び利用時間の延長等によって、一般利用者数の維持、確保に努めた。</li> <li>・競技団体は、指定管理者グループ代表の公益財団法人三重県スポーツ協会に加盟する団体であることから、連携を取りながら、調整を行うことができた。</li> <li>・三重とこわか健康マイレージ事業の「マイレージ特典協力店」に登録し、健康増進事業への協力を努めた。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響による収入減を補うため、支出面において、利用者サービスの低下しない範囲で省エネや節電等、コスト削減に努めた。</li> </ul> <p>【三重交通G スポーツの杜 伊勢】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、本協会が制定した「スポーツ推進計画」に基づき、スポーツ施設としての役割を果たすべく、諸事業を推進した。</li> <li>・高額支出である業務委託費や光熱水費は、総合競技場の運営及び利用者へのサービスに影響を及ぼしていることを意識し、コスト削減に取り組んだ。</li> <li>・定期的に施設利用者及びスポーツ教室参加者にアンケートを実施し、事業活動の向上及び施設の改善に努めた。</li> <li>・三重とこわか健康マイレージ事業の「マイレージ特典協力店」に登録し、健康増進事業への協力を努めた。</li> </ul>
--------	--